

授業計画（シラバス）

■科 目	口腔外科学	■講師名	丹野 咲貴
I 部 2 学年	前期	1 5 コマ (1 コマ 90 分授業)	総時間 30 時間 講義 2 単位
■学修概要 口腔外科で取り扱う疾患及び全身疾患と口腔との関係を学ぶ。 実際の歯科衛生士業務で必要な口腔外科的な基礎知識を修得する。			
■授業目的、到達目標 顎・顔面・口腔領域に生じる疾患の原因・病態・病状・対応を知り、口腔外科小手術に対する準備や手順について理解する。			
■授業方法 講義			
■教科書（書籍名・出版社） 歯科衛生学シリーズ／口腔外科・歯科麻酔 医歯薬出版			
■成績評価・講義上の注意 定期試験の採点結果を評価対象とする。 なお、最終的な成績は、定期試験の 75%以上の多肢選択式客観試験問題の結果に基づくものとする。			
■実務経験 総合病院の口腔外科、歯科大学病院の口腔外科で 12 年間臨床経験。現在は歯科診療所に勤務。 口腔外科診療での経験を基に、本教科書と実際の臨床を結びつけるような学習が出来る様考えている。			
■授業計画（講義の流れ）			
1	口腔領域の損傷：歯の外傷、顎骨骨折、軟組織の損傷		
2	口腔領域の先天異常・変形：歯・口腔軟組織の異常、唇顎口蓋裂		
3	口腔粘膜疾患：水疱形成、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着を主徴とする口腔粘膜疾患		
4	顎関節疾患：顎関節症、顎関節の外傷などの顎関節疾患		
5	口腔領域の炎症：歯周組織、顎骨、顎骨周囲組織の炎症		
6	口腔領域の嚢胞：顎骨内、軟組織に生じる嚢胞		
7	口腔領域の腫瘍：歯原性腫瘍、非歯原性腫瘍、前癌病変、腫瘍類似疾患		
8	唾液腺疾患：唾液腺の炎症、腫瘍など		
9	口腔領域の神経疾患：口腔領域の神経痛、神経麻痺、オーラルジスキネジア		
10	血液疾患と出血性素因：赤血球系、白血球系の疾患、出血性素因		
11	口腔・顔面に症状を現す症候群：形態異常や粘膜症状を表す症候群		
12	診察と診断・滅菌と消毒、インプラント治療		
13	創傷処置・口腔外科小手術・口腔出血に対する処置		
14	テスト前対策		
15	定期試験、解答解説		